

釜石商工会議所 釜石商工会議所（岩手県）



「仮設店舗支援事業」

【事業目的】

釜石市では、震災後早急に仮設店舗の調整を進めてきた。その結果、岩手県内で1番早く着工を迎えることができた。しかし、立地、店舗構成等は、決められた条件で再開しなければならない、運営管理・仕入・集客・法務・情報・接客サービス等、経営上欠かせない要素がこれまでと異なるため、多様な課題が出てくることが予想される。課題に直面している仮設店舗入居者に対し、専門家を活用し、課題解決の支援を行う。

【事業実施状況】

営業再開当初の仮設店舗は、外観・形が同じであるため、お店の判別がつきにくいものであった。そこで、店舗の宣伝PRの為にカッティングマシンを活用し、店舗装飾のお手伝いを行った。

- 「震災からの復興を考える講演会」開催
阪神・淡路大震災からの復興経験、近隣地区の復興への取り組みに携わっている方を招き開催した。
- 個別店舗の相談（物資配布等）
飲食店を再開する事業者へ、北九州市からの支援物資（割り箸・ハンドソープ）を配布。
小売事業者へは、机・椅子等必要物品の支援を行った。

【成果・今後予想される事業効果】

復興経験者による講演会を開催したことにより、集客を図る取り組み、地域一体となった町おこし等、参考となる事例を学ぶことができた。また、商店街の事業者からは、経験者を現地に迎え入れ、商店街再開に向けて取り組みたいとの声もあがっていることから、今後の商店街形成への取り組みに期待ができる。

また、新たな店舗・場所での営業再開を支援する中で、営業方法・宣伝方法等が今までは異なることから、新たなノウハウを身に着けることができ、本設での営業再開に向け期待できる。

今後は、現状、仮設店舗の建設が遅れている場所もあり、仮設店舗で営業再開を目指す事業者もいることから、引き続き支援を進めていき、本設に向けての営業再開を目標に事業者の意欲を推進する取り組みを行っていく。